

『たっち』は、みんなの心が輝きへの「タッチ」を通して、「たちかわ」の地域・家庭・学校が手をつないで、生涯を通じた学びを推進したいという思いを込めて付けた名前です。

たっちの発行は年3回です。次号の発行は平成30年11月10日です。

# たっち

立川市教育だより

●今号の主な内容  
2面 … 若葉台小学校が開校しました／  
学校情報メールに登録を  
3面 … 江戸時代以前の書物を見てみよう！／立川市の歴史と文化財  
4面 … 特別支援教育の環境が充実しました  
編集・発行／立川市教育委員会  
〒190-8666 立川市泉町1156-9  
☎042(523)2111(市役所代表)  
立川市ホームページ  
<https://www.city.tachikawa.lg.jp/>



平成30年度

## 学校教育の充実



立川市は、保護者や地域の皆様方はもとより、事業者や大学等とも連携して、ネットワーク型の学校経営を展開し、教育の充実に向け取り組んでいます。  
平成30年度立川市教育委員会が進める学校教育の充実に向けた主要な取組の一部を紹介します。

### 地域と連携した学校教育の充実

#### ●地域学校協働本部

地域全体で子どもたちの学びを支援するとともに地域の活性化も図ることを目的に、全小・中学校に地域学校協働本部を設置します。本部には、校長が推薦し教育委員会が委嘱する「地域学校コーディネーター」を配置し、地域の団体やボランティア、保護者等と連携しながら、教育活動の支援や推進、地域との連携事業を行います。



各校・地域の方が参加する本部連絡会の様子

#### ●コミュニティ・スクール

五中校区(九小、大山小、上砂川小、五中)と八中校区(新生小・八中)では、コミュニティ・スクールを導入します。コミュニティ・スクールは、学校、保護者、地域の皆さんなどで構成する学校運営協議会を設置し、共に知恵を出し合い、学校運営に意見を反映させることで、子どもたちの豊かな成長を協働により支えていく仕組みです。今年度、これら6校で先行実施し、その成果と課題を踏まえ、平成31年度から市内全小・中学校で導入する予定です。



四小 花壇の整備活動支援の様子



六小1年生の下校 見守り指導の様子

### 学力向上の充実

#### ●地域未来塾

学習等に課題のある児童・生徒等に対して、地域と学校が連携・協働して、全小・中学校において放課後や長期休業を活用し補習授業を行います。また、教育関係の民間事業者と連携し、思考力・判断力・表現力等を育てる学習教室を小学校5年生を対象に実施します。

#### ●スタディ・アシスト事業

学習等に課題のある中学生の進学に向けた学習を支援するため、教育関係の民間事業者と連携した学習教室を中学校3年生を対象に実施します。

#### ●英検IBAの展開

英語教育を充実するため、市内全中学校を対象に公益財団法人日本英語検定協会による英検IBAを無償で実施します。グローバル化に対応できる英語力の習得に向け、一人ひとりの学習成果の確認や目標設定など、生徒の英語学習をサポートしていきます。

#### ●特別の教科 道徳

小学校では、人間性や社会性を育むため子どもたちが考え、議論する「特別の教科 道徳」の授業がスタートしました。授業は立川市で採択した教科書を主に活用して行い、評価は子どもの心の変容や成長を捉え、記述により行います。なお、中学校では平成31年度に「特別の教科 道徳」の授業をスタートします。



上砂川小学校の道徳授業地区公開講座

### 立川市民科の充実

「まちを知り、まちと関わり、まちに貢献する」学習を通して未来を担う市民を育成するため、市内小・中学校全校が「立川市民科」を教育課程に位置付け中学校区の地域特性を生かして取り組んでいます。

この学習の中で、小学校5年生と中学校1年生が立川市に関する知識を広げる多摩武蔵野検定に、小学校6年生と中学校2年生が応急救護・普通救命講習に取り組んでいます。

また、小学校4年生を中心に「たちかわ創造舎」等の外部講師を招聘し、コミュニケーション力の向上を目指した取組も実施していきます。



立川第五中学校における普通救命講習